

特許情報活用支援アドバイザーの支援でリエゾンマンを育成！

支援前

- 特許出願件数の増加を目標に開発・製造部門の技術者に特許の研修を実施してきたが、なかなか成果が出ず悩んでいた
- 先行技術調査も検索スキルが不足しており、思うような結果を得ることができなかった

技術者の知財スキルアップをするにはどうすればよいかという相談を受けたことから、支援が始まった

ADの支援

- 《知財がわかる技術者の育成支援》
- ◆ 特許電子図書館 (IPDL) の活用
    - ・開発テーマに沿った検索方法
    - ・先行技術の調査方法
  - ◆ 特許出願に向けた取組
    - ・先行技術文献の分析
    - ・発明のポイントの把握
    - ・発明届出書の作成

支援後

- リエゾンマンの選出
- 開発テーマから発明を抽出し、発明届出書を作成できるようになった
- 特許電子図書館 (IPDL) を活用した精度の高い先行技術調査ができるようになった

技術者全員の知財力 UP が目標！  
自社による特許出願も可能なレベルに到達

支援先企業担当者のコメント

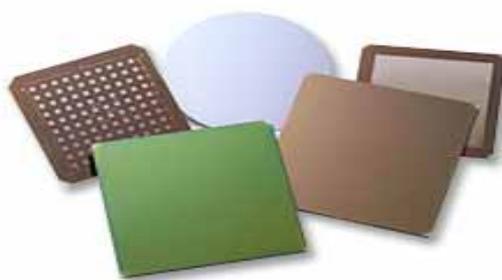
技術者全員が知財の重要性を認識し、アイデアが明細書にまとめられるように、アイデア会議、講習会を開催してきました。しかしながら、期待していた明細書の提出はほとんどなく、どのようにすれば技術者の知財レベルが上げられるか悩んでいました。そこで弊社の知的財産のご指導をお願いしております小林特許情報アドバイザーに相談したところ、一気に全社員のレベルアップを図るのではなく、先ず核となる人物(リエゾンマン)を育成し、その人材を中心に徐々に人材の裾野を広げ、全体のレベルアップを図ると言う方法をご提案頂きました。

早速6人を選出し、小林特許情報アドバイザーに作成して頂いたスケジュールに従ってトレーニングを開始したところ、教育プログラムが功を奏し、着実にメンバーの理解が深まって行きました。この制度を活用して行けば弊社知財のグレードアップが図れると確信しました。今後ご指導宜しくお願い致します。

(マスク開発課 大澤 勝)

支援先企業の概要と主力製品

会社名 アルバック成膜株式会社  
所在地 埼玉県秩父市寺尾  
代表者 橋本 力  
設立 1976年  
ホームページ <http://www.ulcoat.co.jp>  
主力製品 マスクブランク



小林 公(知的財産総合支援センター埼玉)特許情報活用支援アドバイザーの一言

開発の中に埋もれている特許を抽出する有効な手段として、特許リエゾンマンを育成し、特許出願を補助することによって出願件数が伸びることを説明したところ、特許リエゾンマン育成に関心をもって貰い実施しました。

特許電子図書館(IPDL)の検索演習を行った最終日に、各リエゾンマンが検索手順に沿って操作をスムーズに行っているのを見て、検索技術がマスターできたと感じました。今後は、このリエゾンマンが核となり、知財人材の裾野が広がることを期待しています。

また、知的財産権を企業戦略の重要な柱とした新商品の開発につながるように継続的な支援を行っていきたいと考えています。



平成 22 年 3 月現在